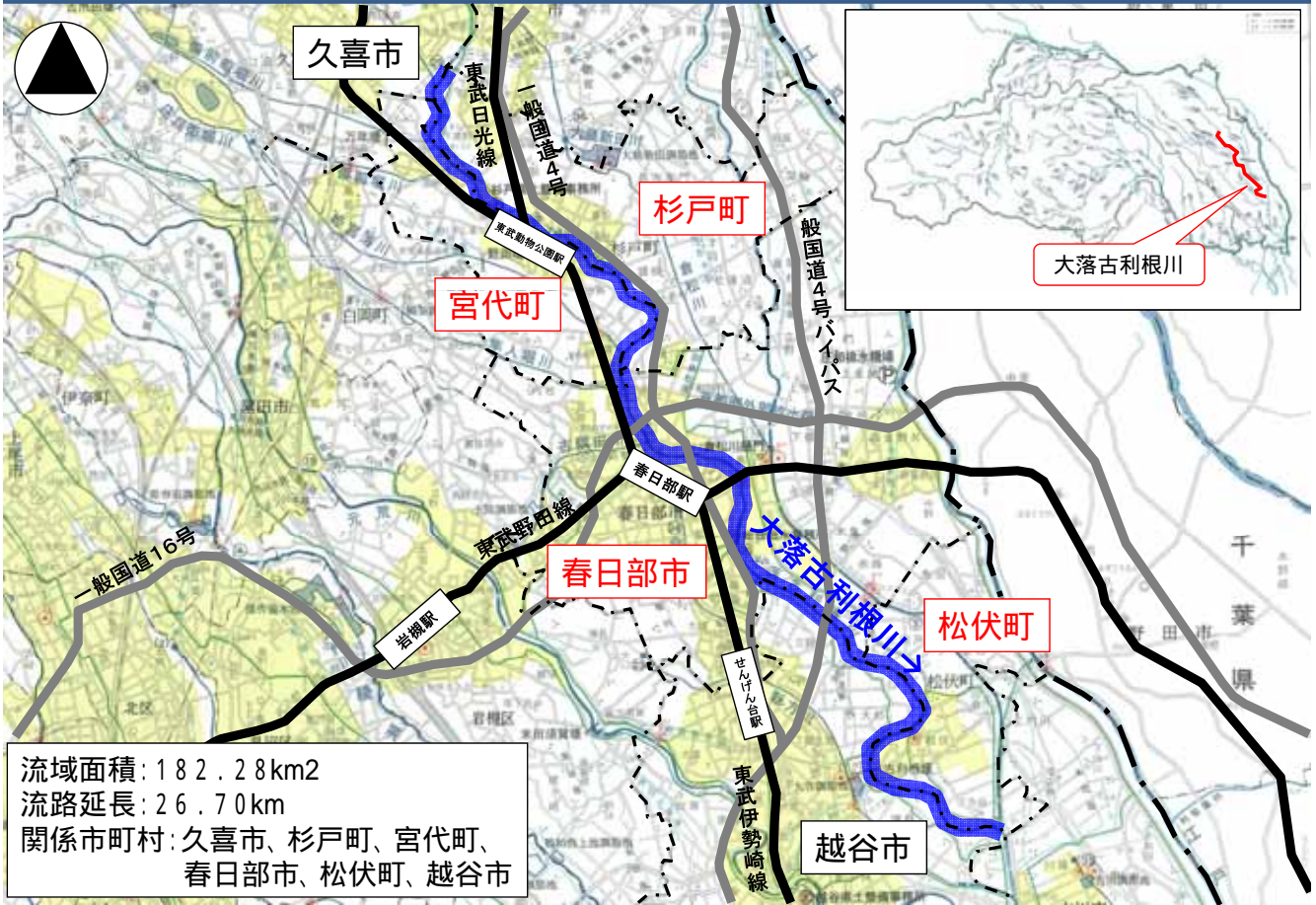


大落古利根川の概要



杉戸町・宮代町

にぎわい・川とふれあうまちづくり

様式 - 2

～ 東武動物公園駅周辺の再生～

東武動物公園駅周辺を再生するため、地域財産である大落古利根川を活用し、「かわ」と「まち」の調和を図ります。この取組により、「人」や「自然」を活かした安全で快適で、ゆとりあるまちづくりを推進します。

市町村域とまちづくり・川の関係 (案内図)



まちづくり等の課題

古くは宿場町として栄えた歴史ある商業都市であったが、これらの地域資源を十分に活用できていない。川沿いは豊かな自然環境を有しているが、親水空間としてのルートが整備されていない。

目標・テーマ

自然環境と調和した個性ある都市環境の創造
 利便性の高い賑わいのある市街地環境の創造
 人に優しい快適で潤いのある生活環境の創造

杉戸町都市計画マスタープラン (H20.3) 抜粋

県に実施してほしい取組

様式 - 3

杉戸町・宮代町では御成街道一里塚や西行法師見返りの松碑など、大落古利根川やその周辺に地域資源が多く存在しています。そこで、橋や堤防を整備することにより、観光客を街中に誘導し、まち歩きを楽しんでいただくことができます。

位置図



実施してほしい取組概要

古川橋の交流拠点としての整備
 かわからまちへの回遊ルートとして大落古利根川の堤防の親水護岸の整備
 かわからまちへのアクセスとなる階段及びスロープ等の整備

工程表

	H24	H25	H26	H27
橋りょうの整備	調査	調査	設計	施工
親水護岸の整備	調査	調査	設計	施工

市町村が取り組む事業等の概要

様式 - 4

地域資産を活かした吸引力のあるまちづくりのために、水辺を利用した盛大な祭りやイベントを実施するとともに、平成18年から東口駅前広場や東口通り線の整備の検討協議を地域住民と協働で行い、中心市街地の活性を推進しています。

位置図



流灯まつり
(水辺の利用)



東口駅前広場の
イメージ



東口通り線の
整備イメージ



事業等の概要

街中への回遊ルートをつくるため、緑道・散策路を整備します。
河川環境整備や遊歩道・自転車道の整備を実施し、良好な親水空間を創出します。
親しみやすい水辺空間の創出のために、環境美化維持管理を実施します。

工程表

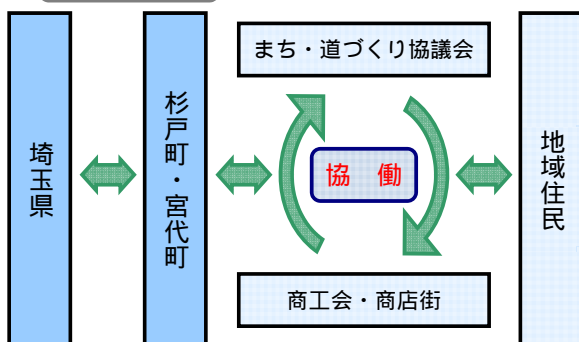
	H24	H25	H26	H27
東口駅前広場	調査	調査	設計	施工
東口通り線	調査	設計	施工	施工

地域連携・維持管理等の概要

様式 - 5

大落古利根川の堤防親水護岸計画は、河川管理者や地元団体・地元住民とともに検討し、観光・まちづくり推進については、原動力となる住民活動を支援します。また、現在まち・道づくりを検討している協議会への支援を継続し、川を含めた住民主導のまちづくりを進めます。

体制図



地元住民による沿川管理



クリーン古利根(住民参加)



地域連携の概要

堤防親水護岸計画は関係者や地域住民間で広く意見交換をし、検討します。
観光・まちづくりのための活動をする地域住民を支援します。
住民やボランティアが主体となるよう取り組み、「みんなでつくる 心豊かに暮らせるまち」(総合振興計画で掲げる目標の1つ)を推進します。

取組全体のアピールポイント

杉戸町・宮代町にとって、川は地域の財産。本取組は、この自然財産を有効に活用することにより、「にぎわい・川とふれあうまちづくり」を目指すものです。
杉戸町・宮代町の住民は、周辺の市町村と比較してもまちづくりに熱心且つ行動的です。将来的には用水路跡地なども含め親水緑道とつなげたいと考えています。

春日部市

(市町村の取組テーマ)

様式 - 2

「水と緑のネットワーク」

春日部市のシンボルである大落古利根川沿いの公園・緑道・農地が一体となり、水と緑のネットワークの整備をすることで、市民が自然と触れ合う機会の増進を図ります。

市町村域とまちづくり・川の関係(案内図)



まちづくり等の課題

本市は大落古利根川をはじめとする大小の河川を有しているが、自然環境を活かした良好な水辺空間の整備が遅れている。

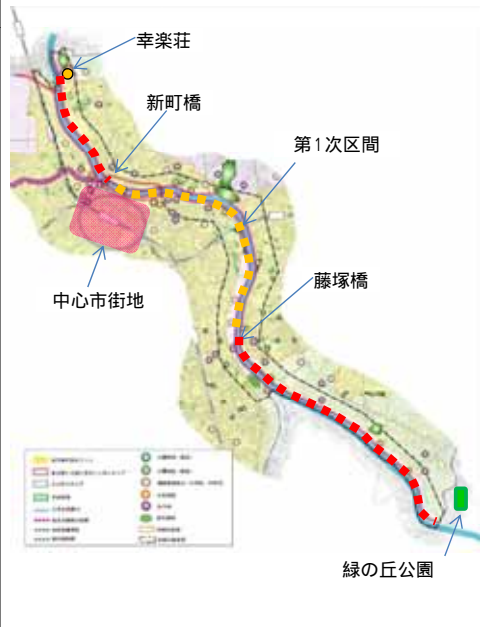
中心市街地がある中流部は、第1次川の再生事業によって、散策できる遊歩道が整備がされたが、上流部と下流部については未整備のため連続性が無い。

目標・テーマ

自然環境を生かした親水空間の整備
「水と緑のネットワーク」を推進
千本桜構想の実現

大落古利根川の新町橋から藤塚橋までの区間は、第1次川の再生事業によって遊歩道が整備されましたが、その上流及び下流部を引き続き整備することで、水と緑のネットワークを形成すると共に、市民の憩いの場として、水辺に親しんでいただくことができます。また、中心市街地から「まつぶし緑の丘公園」まで遊歩道でつながります。

位置図



河川敷の現況



遊歩道整備・桜植樹のイメージ

実施してほしい取組の概要

- 上流部 (新町橋から上流部分・左岸側)
 ・遊歩道整備 (道路幅員が狭い部分については張出歩道)
 ・親水護岸・桜並木の植樹
- 下流部 (藤塚橋から下流部分・左岸側)
 ・遊歩道整備、桜並木の植樹

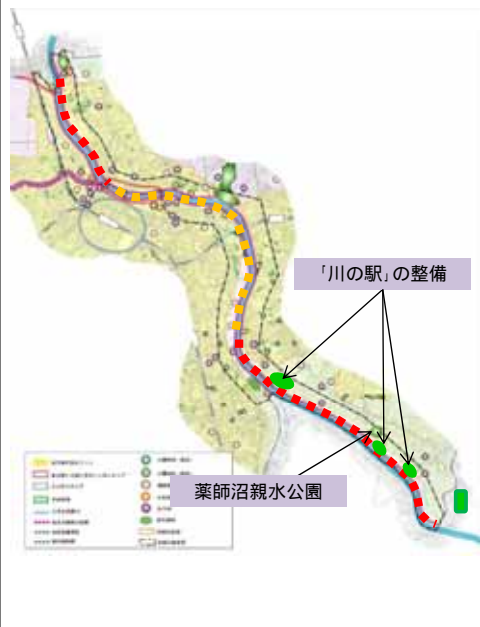
工程表

	H24	H25	H26	H27
下流側整備		遊歩道整備	桜植樹	
上流側整備		親水デッキ整備	遊歩道整備	桜植樹

市町村が取組む事業等の概要 (大落古利根川地区)

市民に、市内施設等を巡ったり、隣接している松伏町まで足を伸ばすなど、新たに整備される遊歩道を活用して、行政を超えた交流や散策等を楽しんでもらうとともに、憩いの場所を整備し活用してもらいます。

位置図



散策ルート案内図イメージ



薬師沼親水公園

事業等の概要

- 市民が散策し憩える場所「川の駅」を整備
 近接する社寺林等を保全し、ビオトープネットワークを形成
 千本桜を実現し、観光資源としてPR
 桜並木の維持管理

工程表

	H24	H25	H26	H27
親水施設整備				川の駅整備

新たに整備される遊歩道は、河川管理者やまちづくりに関わる地域住民との協働により行うとともに維持管理や運営についても検討します。水辺の親水活動を支援するため、地元自治会等と調整を行い、川沿いの定期的な清掃などを行っている水辺のサポーターなどの地域住民等への支援を行います。

体制図



地域連携の概要

本整備にあたっては、地域住民との協働により整備計画や維持管理、運営について検討します。身近な遊歩道や公園等、地域に密着した緑を守り育てるために、地域レベルで構成される緑のボランティアを育成し、市民が主体となる自主的な維持管理を推進します。

取組全体のアピールポイント

政策

- ・親しみのある水辺環境をつくる。
- ・緑豊かなまちをつくる。

緑の理念

- ・豊かな水と緑に恵まれ、風光る わがまち『春日部』

松伏町

市町村の取組テーマ

様式 - 2

行政、企業、町民、NPO等との協働により、地域の活性化を図ります。
近づきづらかった水辺から、親しみのある水辺へと変えていきます。
水辺と既存の公共施設とのアクセスを強化し、賑わいのあるまちづくりを進めます。

市町村域とまちづくり・川の関係(案内図)

まちづくり等の課題



松伏町内の大落古利根川は、堰があり、農閑期、農期で水量の増減があることから、風景に変化があり、情緒あふれる場所です。

また、遊歩道に隣接した桜並木や町営公園、近隣の県営まつぶし緑の丘公園等、のんびりと1日を楽しめる空間があります。

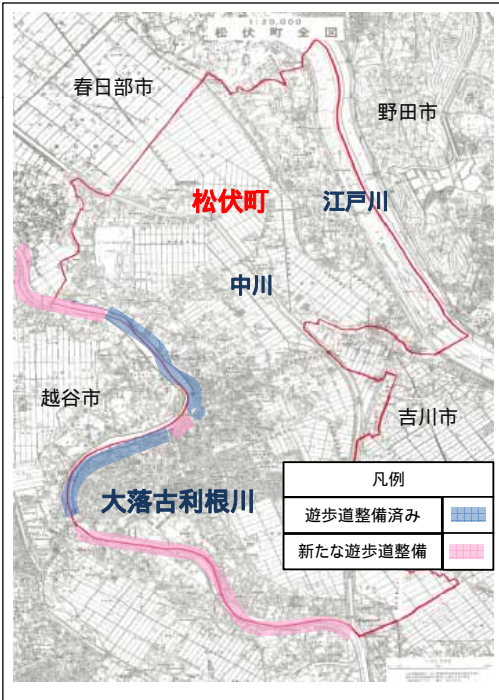
これまで、水辺に近づきづらかったこともあり、水辺を活用したまちづくりを進めてきませんでした。

今後は、水辺と既存施設との連携や遊歩道整備等を進めることにより、町民及び近隣市民が集える憩いの場、活動の場として賑わいを創出させ、地域の活性化を図っていく必要があります。

目標・テーマ

地域住民等との協働による地域の活性化
水辺や近隣公園等の活用による、賑わいの創出

- ・地域住民の活動の拠点となる旧・県道用地や旧河川敷地を活用した「あずまや」の整備。
- ・遊歩道整備を延伸し、(春日部方面、吉川方面)遊歩道の連続性を確保する。
- ・多自然型の護岸整備により、生態系の保全や親水性を高める。



現在の遊歩道と桜並木



未利用の旧河川敷

実施してほしい取組の概要

- 旧県道敷地、旧河川敷の活用(あずまや等の整備)
- 遊歩道の整備・拡充
- 遊歩道の質の向上(舗装の改善、街路灯の整備、距離・案内表示)
- 多自然型護岸の整備

工程表

	H24	H25	H26	H27
あずまやの整備				
遊歩道の整備等				

市町村が取組む事業等の概要

松伏町では大落古利根川の水辺再生事業を活用し、平成24年から平成27年までの4年間で水辺を活用したまちづくりを推進するため、クリーン作戦や遊歩道の維持管理を進めます。河川水質の向上を図るため、下水道の整備や合併浄化槽の普及に努めます。既存公共施設へのアクセス性を向上させ、のんびりと過ごせる空間を整備します。



古利根堰



清流復活後のイメージ

事業等の概要

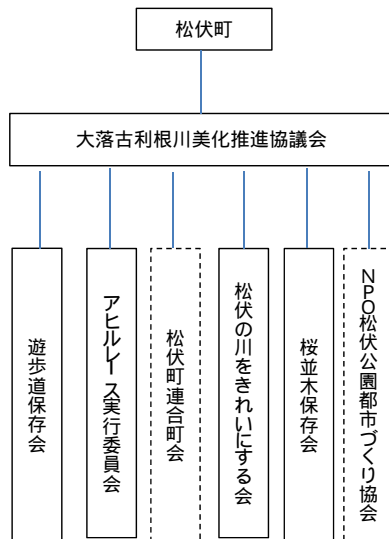
- 大落古利根川のクリーン作戦を実施します。
- 遊歩道の維持・管理を実施します。
- 下水道の整備推進、合併浄化槽の普及を促進します。
- 水辺と公園等のアクセス性を向上させるため、誘導表示等を整備します。

工程表

	H24	H25	H26	H27
遊歩道の管理				
清掃活動等				

桜並木や遊歩道などの維持管理活動を継続して実施していきます。
親水機能を活用したイベントの実施し、親しみのある水辺へと変えていきます。

体制図



地域連携の概要

水辺の再生計画は、流域住民団体(自治会など)の意見集約ができるよう町がコーディネートしていきます。
遊歩道などの維持管理は、住民等との協働により進めていきます。
行政、住民、企業、NPO等が連携し、水辺を活用したイベントを開催するなど賑わいを創出させるための取組を強化していきます。

取組全体のアピールポイント

松伏町では河川も重要なまちづくりの場として考えています。
住民等との協働による維持管理等を推進しており、地域の活性化に貢献できるよう、率先して活動しています。
かつての清流を復活させ、集い、憩い、遊び、やすらぎの場として活用できるよう、様々な主体と連携を図り、取組を強化していきます。